

「天に宝を蓄えなさい」ヤコブ5：1～6 11・12・4 神がまず大切なひとり子を与えられたクリスマス、主が大切な命を与えられた十字架、私たちが宝のように愛して下さる恵みを感謝！金持達へ。1. 「あなたがた（富を過信している）の上に迫って来る悲惨（神の正しいさばきの厳粛さ）を思って泣き叫びなさい」：1。2. 「あなたがたの富は腐っており（神から与えられた富を蓄えるだけで、正しくささげたり用いないと腐る、心も腐る）、あなたがたの着物は虫に食われており、あなたがたの金銀にはさびが来て（神から預けられているものを正しくささげたり、用いたり、必要としている人々に与えないと、虫に食われたり、さびが来て無駄になる。心も霊的な虫に食われ、さびが来る）、そのさびが、あなたがたを責める証言となり、あなたがたの肉を火のように食い尽くします（世の終わりに神の正しいさばきがある）。あなたがたは、終わりの日（主が再臨される終わりの日）に財宝をたくわえました」：2～3。神が私たち人間に財や宝を預けられるのは、貪欲に貯め込むためではなく、必要な事に用いるためである事を覚えたい。3.：4→貪欲な人々は、労働者に賃金を払っていなかった。不当な扱いを受けている人々の「叫び声は、万軍の主の耳に届いています」。万軍の主は、主の時に正しくさばかれます。4.：5→貪欲な人々は、神から預けられている物を神にささげず、人々に分け与えず、自分の為だけに贅沢に暮らし、快樂にふけり、殺される日（神の審判の日）にあたって自分の心を太らせました。殺される日が迫っている動物がなお貪欲に食べて太っているように、彼らも神の審判の日が近づいていることに全く無関心で、罪に罪を重ねて滅びを確実なものにしている。4.：6→貪欲な人々は、富の力で法廷をも支配し「正しい人を罪に定め、殺しました」。貧しい人々が、パンを買うための賃金を不当にも与えなかった。そういう意味で正しい労働者を殺した。「彼はあなたがたに抵抗しません」→「自分で復讐してはいけません。神の怒りに任せなさい。それは、こう書いてあるからです。『復讐はわたしのすることである。わたしが報いをする』と主は言われる』（ローマ12：19）。Ⅱ世界で最も富んでおられた主が私たちの為にされた事→クリスマスと十字架の恵み「主は富んでおられたのに、あなたがたのために貧しくなられました（最高の位の神であられたのに、へりくだり、人となり、赤ちゃんとなり、貧しくなり、家畜小屋に生まれ、富んだ生活をなさらず、最後は最も低い十字架にまでへりくだり、私たちの罪の為に死んで下さった）。それは、あなたがたが、キリストの貧しさによって富む者（主の救い、罪の赦し、永遠のいのちという最高の霊的富を得、愛にも、神から与えられたものを喜んで捧げる恵みに富む者。Ⅱコリ8：7）となるためです」Ⅱコリ8：9。私たちの為に貧しくなられた主は、こう言われました→「自分の宝は、天にたくわえなさい」マタイ6：20。1. 宝とは、金銭、物、名誉、

地位、他すべてを含む。所有物よりも、所有物に対する私たちの態度が問題。心が執着しているものが宝。自分の満足、関心、希望がこの世のものに縛られているか？それとも主によって心が満たされているか。2. 地上に「蓄える」とは→富そのものを目的とし、貯め込む為に生きる事。神の栄光ではなく、自分の地位、名誉の為に生きる事。3. 自分の宝を天に蓄えるとは→①すべては神から与えられていることを認め、神のものである十分の一を神にささげる。マラ3：10。②真に必要とされるところに「惜しまずに施し、喜んで分け与えるように」Ⅰテモテ6：18。③人生について正しい見方を持つ。「私は、旅人としてこの世を、神の目のもとで、神に導かれつつ永遠の望みを目指して歩いている」。ヘブル11章の信仰の勇者たちは「地上では旅人であり、寄留者であることを告白していた」11：13。神は、エジプトの宮廷で前途洋々としていたモーセに、すべてを捨てて40年に渡るみじめな羊飼いの生活をするように導かれた。モーセは従ったがそれは神が「報いとして与えられるものから目を離さなかった…目に見えない方を見るように忍び通したからです」11：26, 27。④地上で自分に与えられているものは、神の為に用いるように神が私たちに預けられているものという正しい見方を持つ。私達は、神に委ねられたものについて報告の義務を負う管理人。マタ25：19→預かったものをどう用いたか報告する清算の 때가 やって来る。私達の金銭、財産、能力、自分も自分のものではない。真の所有者は、すべての造り主の神（ヨブ41：11、Ⅰコリ6：19）。それゆえ、私は、富を賜物を自分のものにしてしまうことはできない。私はこれらの保管者に過ぎない。私は、これらを神の為に使っているか。私は、神にお会いする、神の御前に入る日が1日1日近づいている。神が私の永遠の審判者であり父である。神が私を祝福し与えて下さったすべてのものについて報告書を提出しなければならない。私は、1日毎に自分の移動テントを1日の行程分だけ私の真の家（天国）に近づきつつ張っている。私は父なる神に愛されている子供として、私自身の為ではなく、御父の御目的の為に今、この地上に置かれている。私は自分でこの世に生まれる事を選んだのではない。私がここにいるのには、目的がある。神が私にこの世に生きるという特権を与えて下さった。すべてのものは、神が所有者であり私は管理人としてそれらを神の為に用いる者と自覚させられる時、私はこれらに執着したり支配されたりせず、御心を祈りつつ用い歩む。「主のみこころなら、私は生きていて、このことを、または、あのことをしよう」ヤコ4：15。誤った活動主義（御心を祈らず、はやるあせり義務感、衝動）に自分を追いやってはいけない。それではいつか倒れる。主は、やるべき時と休むべき時と両方を与える方。あせらず、神の前に静まり、神が喜ばれる事を見分けつつ主と共に1日1日一足一足歩めますように。神は正しく報いて下さる。